



2021年9月21日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証マザーズ)
問合せ先 取締役総務部長 田中 英樹
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

当期 PSS 新規技術による製品化重点開発3テーマについて

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社（以下 PSS、本社：千葉県松戸市）は会社企業理念として、「PSS バイオシステムネットワークを通じた社会貢献」を掲げ、「多様なバイオ分野において、高精度かつユーザーフレンドリーなオープンシステムの提供を通じ、遺伝子、タンパク質、免疫等に関する生体情報の有効活用を推進することで、社会貢献の実現をする。」を事業推進の指針としています。

本企業理念と事業推進の指針をもとに、2021年9月3日(金)に開催された会社決算説明では製品技術開発の説明を実施しましたが、このたびは特に「当期 PSS 新規技術による製品化重点開発3テーマ」に関して以下に概要を案内します。

1, Magtration®技術の応用展開：Swing “Magtridge” Technology

血液等試料中の当該物質を濃縮・精製する目的で、核酸(DNA)抽出や免疫測定システムに実績のある Magtration®技術を発展改良させた”Magtridge”の開発に着手します。従来の技術では困難であった微量な糖タンパク質や細胞・エクソソーム等の抽出・精製システムの実現を目指します。技術利用用途としては、①アルツハイマー病診断システム、②がんの診断システムの構築を具体的な目標とし、開発を行って参ります。

2, 全自動 PCR 検査システム(geneLEAD)の高速化：“Sprint” PCR Technology

全世界 50 ヶ国の臨床医療現場で 1,000 台以上の販売実績がある PSS の全自動 PCR 検査システム(geneLEAD)を高速化して新たな市場ニーズに対応するものです。技術利用用途として

は、迅速かつ正確な陰性、陽性判定 PCR 検査が要求される①空港出入国管理、②コロナ等の感染症スクリーニング検査を想定しています。

3, 自動核酸抽出装置の高付加価値化(全自動 PCR プレパレーション) : “magLEAD 24 Technology”

24 検体同時核酸抽出から世界標準である 96 マイクロプレートへの PCR 試薬調製までの全自動化を目指したシステムであり、各研究、検査室の所有する既存のサーマルサイクラー*との円滑な作業連携が行えます。OEM ブランド製品を含めて 3 万台以上の販売実績を持つ PSS 核酸抽出技術を高付加価値化した製品となります。

これら新規技術による製品化開発テーマは、既完成要素技術の応用展開として短期間での製品化を目指して今期の研究開発予算を見積もっており、製品化への進捗があった場合には適宜情報を開示いたします。なお、これら開発製品における当期業績への影響は軽微です。

以上

(参考資料) 2021 年 9 月 3 日(金)開催

会社説明会資料 : <http://www.pss.co.jp/ir/press/pdf/202109061.pdf>

サーマルサイクラー* シークエンス、クローニング、遺伝子型決定、突然変異、およびその他多くの用途に使用されるポリメラーゼ連鎖反応 (PCR) を実行するために研究者に必須の実験装置です。